



学校法人 東海大学 初等中等教育機関総覧

一貫教育が育む未来への可能性





集いカ



リッキーは、東海大学が育成する 自ら考える力 集い力 挑み力 成し遂げ力の

4つの力を表現したイメージキャラクターです。 初等中等教育機関においても

この4つの力を共通の教育目標として掲げ、 成長段階ごとにわかりやすい

言葉に置き換え教育を展開しています。



柔軟な思考力:将来の進路を視野に入れ、日々学習と部活動に精一杯 取り組むことにより、柔軟で多様なものの見方や正しい 考え方を導き出す力

杂款存用参

協調する力:学校行事や部活動では、自ら積極的に参加することは もとより、他者との違いを柔軟に受け入れ、仲間と協調 し、より良い関係を築く力

ころみ力:知的好奇心や技能・体力に自らの限界を設けず、自己の 可能性や能力の向上に挑戦する力

あきらめない力:最後まであきらめない、強く逞しい心を持ち、目標に到 達するまで努力を持続する力

小学校・認定こども園

かしこ力:遊びと学びを通じて他者と自己を認識し、豊かな感性と協調す る心を育み、人として成長する第一歩を踏み出す力

仲良し力

自ら考える力:常に未来を見据え自らが取り組

むべき課題を探究する力 い 力:多様な人々の力を集結する力 挑 み 力:困難かつ大きな課題に勇気を 持って挑戦する力 成し遂げ力:失敗や挫折を乗り越えて、目標 を実現していく力

仲良し力:仲間との関係から社会を学び、集団の中でルールや約束事を 知り、社会性を身につけ、人間関係の基礎となる力

遊び力:健全な成長には欠かせない「遊び」から多くのことを学び、友 達との関係から、安定した情緒と豊かな感受性を養う力

じりつ力:社会や自然に興味を持ち、規則正しい生活習慣から自信とや

る気を育てて身につける自立する力

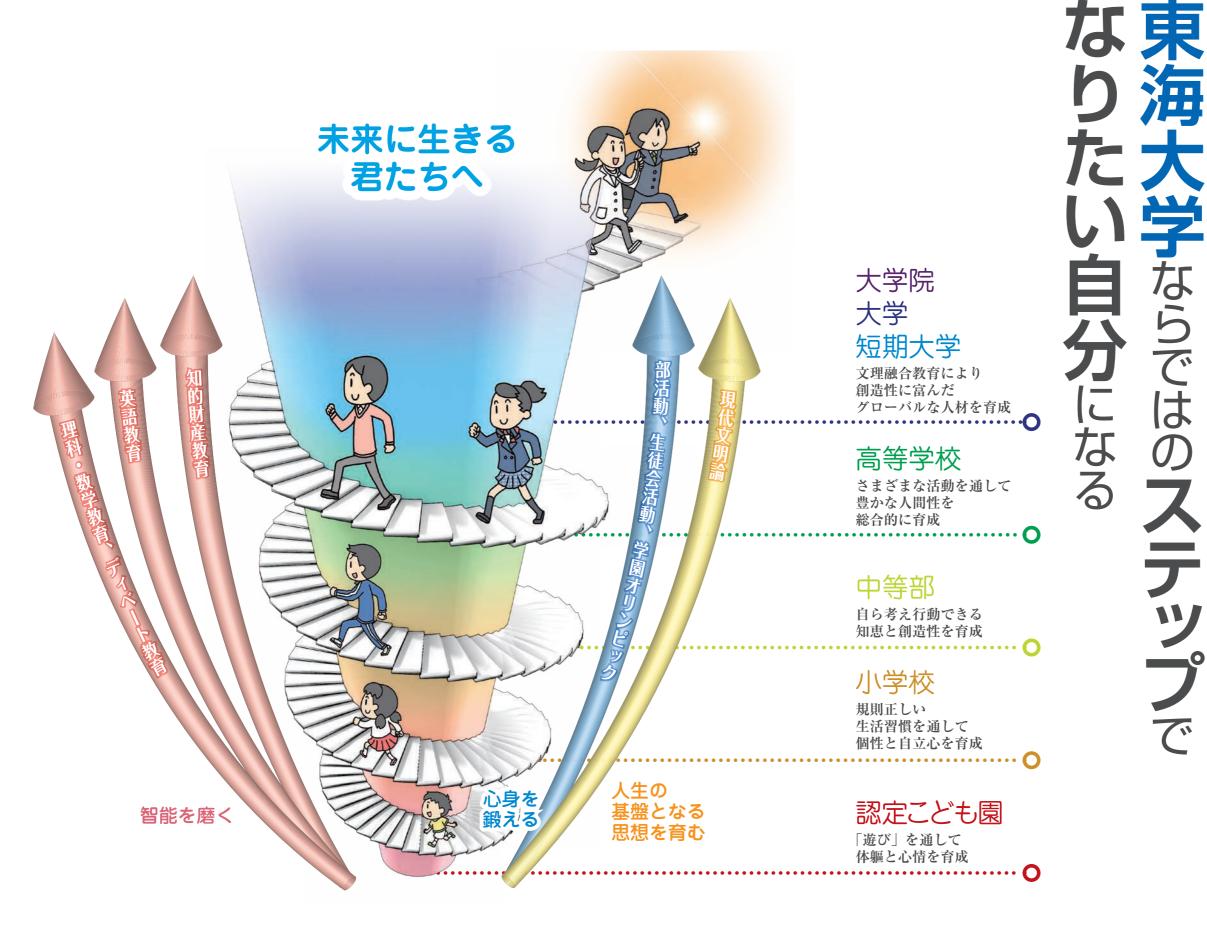


2021





〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4 TEL: 03-3467-2211 (代表) https://www.tokai.ac.jp



充実の一貫教育で 広がる未来

中等部から高等学校、高等学校から大学・短期大学への進学は内部推薦による入学が可能で、19学部75学科・専攻・課程を擁する東海大学をはじめ、各自の進路に合わせた幅広い分野を学べます。

この一貫教育システムは、上級学年の学習を先取りすることを目的とせず、発達段階や学習の定着度を確認し、園児、児童、生徒に合わせた教育を実践します。

Contents

学の精神	4
あいさつ	5
前重義と建学の精神	6
園マスタープラン	10
国に広がる私たちの学び場	12
実した一貫教育	14
●認定こども園/小学校	14
●中等部/高等学校	15
●教育改革	16
現代文明論/理科·数学教育	17
英語教育/海外研修	18
●知的財産教育/ディベート教育	19
● 学習と部活動の両立 /生徒会活動の充実	20
●連携する教育活動/社会貢献	21
園オリンピック	22
属推薦入学制度	24
●大学・大学院	28
● 短期大学& インターナショナルカレッジ	30

31

初等中等教育機関沿革

建学の精神

創立者松前重義は、青年時代に「人生いかに生きるべきか」について思い悩 み、内村鑑三の研究会を訪ね、その思想に深く感銘を受けるようになりまし た。特にデンマークの教育による国づくりの歴史に啓発され、生涯を教育に 捧げようと決意して「望星学塾」を開設しました。ここに東海大学の学園の 原点があります。

創立者松前はこの「望星学塾」に次の四つの言葉を掲げました。

若き日に汝の思想を培え

若き日に汝の体軀を養え

若き日に汝の智能を磨け

若き日に汝の希望を星につなげ

ここでは、身体を鍛え、知能を磨くとともに、人間、社会、自然、歴史、世 界等に対する幅広い視野をもって、一人ひとりが人生の基盤となる思想を培 い、人生の意義について共に考えつつ希望の星に向かって生きていこうと語 りかけています。

本学園は、このような創立者の精神を受け継ぎ、明日の 歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を 育てることにより、「調和のとれた文明社会を建設する」 という理想を高く掲げ、歩み続けていきます。

ごあいさつ



学校法人東海大学 総長 松前 達郎

建学の精神と創立からの歴史を基盤に 挑戦し続ける学園として未来を拓く

1942年、創立者松前重義は、人類の幸福と平和の実現に向かって明日の歴史づ くりを担う人材を育成する、との熱き理想を胸に、静岡県清水の地に学園を創立 しました。「国づくりの基本は教育にあり、教育を基盤として平和国家日本を築 こう」との決意に賛同する多くの同志、協力者の絆により幾多の困難を乗り越え、 今日、国内外に多くの教育・研究機関、付属施設等をもつ総合学園に発展してお ります。

世界はいま大きな転換期にあります。現代の文明社会の歪みや対立を克服する ためには、多様な価値観を認め、人と社会と自然が調和する新しい関係を築かな ければなりません。私たちは、まさにその新しい関係を創造し時代を切り拓いて いく人材を社会に送り出すことを使命としています。

本学園は「変えてはならないもの」すなわち建学の精神と、思想を培う教育と いう原点を堅持しながら、常に時代の変化に先駆け、調和のとれた文明社会の建 設のために挑み続けてまいります。



学校法人東海大学 理事長·副総長 松前 義昭

建学100周年に向けた"羅針盤"を手に 文理融合と一貫教育を基軸とした真の人間教育を実践

「学園マスタープラン」は本学園が建学100周年(2042年)に向けて策定した 総合戦略です。これは、建学の精神のもとに築いてきた学園の歴史と伝統を礎に、 学園が求めていく共通の価値、行動指針に沿った目標を共有し、協力し合う体制 を堅持していくためのものであり、いわば、未来への航海の"羅針盤"となるも

我々を取り巻く環境は刻一刻と変化します。四半世紀のスパンで見たとき、そ れは劇的なものになります。そのような事態を脅威とせず、チャンスととらえ、 適応し、進化していかなければなりません。そのために、学園マスタープランを 拠りどころとしてさらなる環境整備を進め、改革の歩みを止めることなく、常に 挑戦と前進を続けていきます。そして学園の歴史と伝統を胸に、私たちは、建学 当初から貫いてきた文理融合の理念のもと、本学園ならではの一貫教育を基軸と して、信頼感を得られる真の人間教育を実践してまいります。

松前重義と建学の精神

私学は創立者の教育に対する情熱と理想を基に創設されたもので、

その心が「建学の精神」であり、いかなる時代においても変わることなく継承されるべきものです。

本学園の建学の精神は、創立者松前重義(1901~1991)の思想と人生に深い関わりを持っています。



^{創立者} 松前重義

松前重義をよく知るための参考図書

『松前重義著作集(「発明記」「デンマークの文化を探る」 「科学の進歩と唯物史観」「新科学時代の政治観」「科学は歴史を変える」 「二等兵記」「科学・技術・思想」「わが宗教観」「対談集」「詩歌集」/全10巻)』、 『現代文明論』、『青春に生きよう(松前重義望星学塾講演集)』、 『改訂版電気通信概論』(松前重義・北原安定著)、 『武道思想の探求(松前重義編)』 ※以上 東海大学出版会刊

生い立ち

松前重義は熊本県上益城郡大島村(現在の嘉島町)に生まれ、小学校5年生のとき熊本市に移り住みます。生まれ育った農村と違って、市内では夕方になると一斉に電灯がともり、少年時代の松前はその美しさに驚き、「なぜつくのだろう」とその不思議さに素朴な疑問を抱きまし

た。後に松前は、この少年時代の体験が「電気」の分野を学ぶきっかけになったと語っています。

『松前重義 わが昭和史』(松前重義・白井久也共著/朝日新聞社刊)

そして県立熊本中学校(現・熊本高校)から熊本高等工業学校(現・熊本大学工学部)、東北帝国大学(現・東北大学)工学部へと進みますが、松前の青春時代は、

中学時代に兄の影響から始めた柔道などのスポーツに熱中する日々でした。その一方で、大学では電気工学を学び、卒業研究は電磁気学の権威である抜山平一教授のもとで、後のトランジスタやICへと発展する真空管の特性などについて研究しました。

日本の科学技術発展のために 技術者運動を展開

大学を卒業した松前は、国の事業に携わりたいと希望して逓信省(現・総務省)に技官として入省しました。しかし、役所の生活は無味乾燥で事なかれ主義が蔓延していました。当時の日本の社会は指導者として法学部出身者を最優先する風潮が根強く、一般的に文科系と理科系の人

との間には理解のうえで深い溝がありました。松前はこうした社会の現実を憂え、 国家の正常な発展のためには文科系と理 科系の相互理解が不可欠であるとの思い を強くします。同時に、世界や社会の動 向に無関心になりがちな技術者の意識改 革と地位の向上を訴える技術者運動を展 開しました。

また、松前は当時の日本の科学技術が 外国の技術に多くを依存していることに 対し、国産技術開発の重要性を説き、自 らもその研究に努めました。

情報化時代への曙 無装荷ケーブル通信方式の発明

20世紀はじめの通信技術の課題は、より遠くへ、より速く、より大量に情報を送ることにありました。電話通信の分野では、アメリカ・コロンビア大学のピューピン教授が開発した装荷ケーブル方式が世界の主流でした。これは、電流の減衰を防ぐため電話ケーブルの途中に装荷コイルを挿入するものでしたが、この方式は音声が不明瞭、一回線で一通話しかできず不経済であるなど、様々な欠点があ

りました。

そこで松前は、篠原登らとの研究成果をもとに、既成概念にとらわれることなく装荷コイルを使わない新しい通信方式を開発します。これは、長距離ケーブルの途中に増幅器を設置して電流を増幅させ、高周波の電流に音声を乗せて送る搬送方式で、装荷ケーブル方式の欠点を一気に解決し、しかも一回線で複数の通話ができる多重通信を可能とするものでし

た。これが世界的にも有名な無装荷ケー ブル通信方式です。

やがて国と民間企業が協力する国産プロジェクト研究によって実用化が進み、1939年日本と中国、約2,700キロの間が無装荷ケーブルで結ばれました。その後、この通信方式は世界の主流となり、今日の情報化時代を開くきっかけとなりました。



無装荷ケーブル

無装荷ケーブル通信方式は、従来の通信システムの大転換であったため、ケーブルの構造の根本的な改造にはじまり、増幅器や真空管、材料など広範囲にわたって新しい技術開発が必要となりました。松前重義は、これを外国の技術に頼らず全て国産技術によって開発し、通信機器の国産化への道を開きました。



デンマークのアスコー国民高等学校を訪れた若き日の松前重義(1934)

教育への志を立てる 内村鑑三との出会いと デンマーク体験

逓信省時代に松前重義は、無味乾燥な役所での毎日を送るなかで「人生いかに生きるべきか」について思い悩み、内村鑑三(1861~1930)が主宰する聖書研究会や講演会などに通いました。内村は無教会主義を唱えたキリスト教思想家で、その『デンマルク國の話』、『後世への最大遺物』などの著書は当時の青年たちに大きな影響を与えました。

そこにおいて松前は、内村の思想と人 類の救済を説く情熱的な訴えに深く感銘 しました。また、そのなかで松前は、プロ シアとの戦争に敗れ、疲弊した国を教育 によって再興させた近代デンマークの歩みを知ります。とくに、その精神的支柱となった N.F.S. グルントヴィ(1783~1872)が提唱する国民高等学校(フォルクホイスコーレ、国民大学とも訳す)の姿を知り、そこに教育の理想の姿を見出します。

「生きた言葉による学校」「民衆のための大学」といわれた国民高等学校の教育は、教師と学生が生活を共にし、自由に社会を論じ、哲学を語り合う活気に満ちた学校でした。1934年に松前は、その教育事情を視察するため、デンマークを訪

問しています。そこで得たものは、後に 松前が述べているように、学校とは「歴 史観、人生観、使命感を把握せしめ、以 て個々の完成に努力することにある」べ きだということでした。そして、この教育 こそが豊かな酪農王国デンマークを築く 原動力になっていることを目の当たりにし たのです。この体験を通して松前は「国 づくりの基本は教育にあり、教育を基盤 として平和国家日本を築こう」と決意しま した。

写直: 今井館教方会所蔵

内村鑑三

内村鑑三(1861~1930) は、「Boys, beam bitious!」(少年よ大志を抱け)の言葉で有名なクラーク博士の精神が強く残る札幌農学校に学び、その影響からキリスト教の洗礼を受け、従来の教会を中心とした信仰のあり方に対し、聖書を中心とした無教会主義を唱えました。毎週日曜日に開かれた「聖書研究会」はその実践の場であり、松前重義が参加したのは1925年頃のことです。



写真:デンマーク歴史博物館 フレデリックスボー所蔵

N.F.S.グルントヴィ

N.F.S.グルントヴィ (1783~1872) は、デンマーク復興の父といわれるキリスト教思想家、詩人、教育者。自由主義、国民主義の気運が高まる19世紀のデンマークで、形骸化した国教会や学校のあり方を批判、民衆の言葉による生きた教育を実践する国民高等学校運動を提唱しました。国民高等学校は現在、デンマークに約100校もあり、17歳以上であれば無試験で誰でも学ぶことができます。

塾生とともに。前列左から 2人目が松前重義



東海大学の原点望星学塾の開設

松前はかねてから妻信子や松前の理想に共鳴する友人の篠原登、大久保真太郎など数人の同志とともに教育研究会という小さな集まりをもち、シュバイツァーやペスタロッチなどの人生・思想を研究していました。そして松前は、無装荷ケーブル通信方式の発明により、電気学会か

ら「浅野博士奨学祝金」を受けると、これを基金の一部として念願の教育事業を開始するため、1936年に東京・武蔵野に望星学塾を開設したのです。そこでは、デンマークの国民高等学校の教育を範としながら、対話を重視し、ものの見方・考え方を養い、身体を鍛え、人生に情熱

と生き甲斐を与える教育をめざすもので、 聖書の研究を中心として日本や世界の将 来を論じ合う、規模は小さくとも理想は 大きく、活気ある学習の場でした。この 塾が今日の学校法人東海大学の母胎と なったのです。

平和への信念を貫く 二等兵として激戦地へ

やがて第二次世界大戦が始まると、松前はわが国の生産力などの様々な科学的データをもとに戦争の早期終結を唱えたため、通信院工務局長(当時のわが国における通信部門の最高責任者)という国の要職にありながら、42歳で兵隊の位で一番低い二等兵として南方の激戦地に送られました。そのため望星学塾の活動も停止せざるを得なくなりました。

しかし九死に一生を得て帰国すると、

やがて技術院参技官となり、原爆投下の直後には広島の現地調査に入って、原爆の惨状を目の当たりにしました。そして終戦後すぐ逓信院総裁に就任し、廃墟となった日本の通信事業の復興に努めます。一方、1943年に開設した航空科学専門学校を前身とし、文科系と理科系の相互理解と調和を基本に掲げて東海大学(1946年旧制東海大学、1950年新制東海大学となる)を開設しました。



召集令状(1944)

世界の中の日本を思う 科学技術立国をめざして

松前は、日本の科学技術政策の貧困を 憂え、技術者の地位向上や国産技術の開 発を訴え続けてきました。その成果の一 つが戦前の無装荷ケーブル通信方式の発 明であり、また、戦後の科学技術庁の設 立です。

松前は、天然資源に恵まれない日本が 世界に貢献していくには、独創的な技術 開発による科学技術立国の道を歩むほかはない、と考えていました。しかもその科学技術は人類の幸福のためにあるべきものだ、との思いは広島の原爆調査などの体験からますます強くなっていました。もはや科学技術は、扱い方を間違えれば人類を破滅に導くほどの力を持つに至ったのです。

そして、国の行方も人類の将来も、これに携わる人間の思想に左右されることを身をもって体験した松前は、かねてからめざしていた「思想を培う教育、文科系と理科系の相互理解をめざした教育」を東海大学のなかで実践していきます。



創立の地、三保の松原を学生・生徒・児童・園児らと散策する

新しい出発

公職追放など様々な苦難のなかで

戦後の松前の歩む道は多難でした。当時日本を占領していた連合国軍総司令部(GHQ)の命令で、戦時中に国の要職にあったという理由で1946年には公職になります。このため、発足したばかりのよばかりの運営に携わることもできなくなりの運営に携わることもできなくなりでという程を失い、一時は廃校ので松前という柱を失い、一時は廃校のの機に瀕するほどになりました。しかし、公で大学は支えられ、再建への努力が続けられます。そして1950年追放から解除されるや、松前は直ちに学園に復帰すると、当時日本をはあると、当時日本をはある。

獅子奮迅の活躍で理想の学園づくりに邁 進し、今日の総合学園を築き上げてきた のでした。



旧制大学駒越校舎本館

希望を星につなぐ

松前が教育に託したものは、人類の幸福と平和の実現に向かって、明日の歴史づくりを担う人材の育成にありました。

そして松前はすべての若人に向かって 語りかけます「若き日に汝の希望を星に つなげ」と。この希望とは、高い理想や 大志を表しています。そしてこの言葉は 内村鑑三の心の師であるクラーク博士の 有名な「少年よ大志を抱け」と同じ精神 の表現であり、若人への時代を超えたメッ セージです。

現代社会の変化は激しく、私たち人類の未来にも様々な難問が横たわっています。だからこそ松前が示した高い理想をもって未来をみつめていくことが、いま私たちに最も求められているのです。

奏

| 校名

「東海」とは、アジアの東にある世 界最大の海洋である太平洋を表し ており、太平洋のように大きく豊 かな心、広い視野を育みたい、と いう願いがこめられています。

| 校章

学園の各教育機関の校章には波と 翼がデザインされており、これは 洋々とした大海と、それを俯瞰し て悠揚迫らず大きく翼を広げて飛 翔するかもめを表しています。



■ 校旗

創立者松前重義は、内村鑑三の思想的影響から「愛と正義」を自らの信条として、学園の校旗の十字に象徴化しました。 そして、「校旗の十字の白線は、横が愛、縦は正義を表す。 愛と正義の交わるところに真理がある」と述べています。 校旗の地色は学園の教育機関の幼・小・中・高・短大・大学・ 大学院の七段階に対応して、それぞれ赤、橙、黄、緑、青、藍、紫の七色に分けられています。これは虹の七色を意味しており、七色の光が渾然と融合して太陽の白光となりました。 資達ぐとき、万物は育成されることに象徴されるように、七種の学校群が一体となって教育を行うことにより、一人ひとりの中に豊かな生命が育まれるように、という願いがこめられているものです。

学園マスタープラン

学園マスタープランとは-

学校法人東海大学が、建学100周年を迎える2042年においても、建学からの一貫した教育理念に基づく人材育成により、調和のとれた文明社会の建設に選進する学園であり続けるための、学園の総合戦略です。

学園マスタープランの階層

・建学の精神【使命】

学園の<mark>あるべき姿</mark>【目的】

学園の戦略実行計画【共通戦略目標】

中期運営方針・事業計画(重点取組項目)【部門*中期目標】

単年度運営方針·事業計画【部門^{*}単年度目標】

運営計画【機関目標】

※部門:法人管理部門、高等教育部門、初等中等教育部門、医学部付属病院部門

建学の精神【使命】

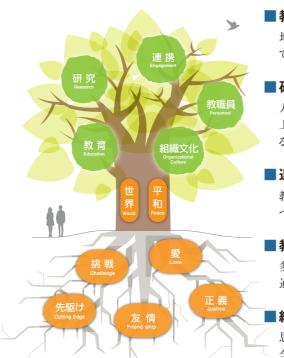


→P.4をご覧ください。

学園のあるべき姿【目的】

建学100周年に向けた学園が目指すビジョン

学園が築いてきた歴史と伝統の根底にあるスピリット、すなわち「挑戦」「友情」「正義」「愛」「先駆け」を礎とし、建学以来見据えてきた「世界」「平和」を基軸にして、学園共通の価値、行動指針を表したものが「学園のあるべき姿【目的】」です。



■教育 Education

地球市民として未来を創造し ていく人材を育成する学園

■研究 Research

人類の恒久平和と福祉の向 上に寄与する研究を推進す る学園

■連携 Engagement

教育・研究の成果を広く社会 へ還元する開かれた学園

■教職員 Personnel

多様な人材が対話と協働を 通して挑戦し続ける学園

組織文化 Organizational Culture思いやりと温かな心をもって全ての人々に関わる学園

建学100周年に向け、メッセージとして

Think Ahead, Act for Humanity

~先駆けであること~

を掲げました。

学園の戦略実行計画【共通戦略目標】

学園のあるべき姿【目的】を実現するための、中・長期的な目標

建学100周年に向けた「教育研究基本方針」「財務」「人事」「施設設備」の 4項目における課題、達成目標及び行動計画を明確にしたのが「学園の戦略 実行計画【共通戦略目標】」です。

教育研究基本方針

「戦略目標〕

- 1. 一貫教育を基軸とした文理融合教育 の推進
- 2. 個人·文化の多様性や価値観を受容し、相互理解を深める教育の展開
- 3. 新たな社会的価値を創造できる研究 体制の構築

財務

「戦略目標〕

- 1. 安定した財政基盤の早期確立・維持
- 2. 施設設備の整備に向けた資金計画の 立案・実施

人事

[戦略目標]

- 1. 教職員の能力を引き出す人事制度の 整備
- 2. 教職員の仕事、能力、成果及びワークライフバランスに応じた給与・福利厚 生制度の整備
- 3. 多様な力を養成する研修体系の構築

施設設備

「戦略目標〕

- 1. 施設の有効活用を踏まえた効果的・効率的な施設整備の推進
- 2. 経営情報に関する基幹システムの構築

上記、戦略目標におけるKGI及びそれを達成するための検討課題・行動計画・KPIについては、内部経営情報のため、 非公開としています。

学園マスタープランについて 詳しくはこちら



https://www.tokai.ac.ip/about/master_plan/

YouTube

建学75年の歩み、学園マスタープランなどの動画は「学校法人東海大学(公式)」 チャンネルでご覧いただけます。

学園紹介ムービー

創立者・松前重義の理念と学園の使命を基盤として、これまで取り組んできた事業について紹介する動画「建学75年の歩み編」と、建学100周年に向けた学園の姿勢を、学園マスターブランの内容と共に紹介する動画「学園マスターブラン編」があります。

■建学75年の歩み篇







英語

■ 学園マスタープラン篇





認定こども園から大学院まで、 私たちの学びの場は大きく広がっている。

学校法人東海大学は北海道から九州・沖縄、諸外国に至るまで教 育研究機関を持つ広域の総合学園です。各機関では建学の精神に 基づいた教育研究活動を展開する一方、地域との連携にも積極的 に取り組み成果を上げています。また、学園の建学の地である静岡 県では認定こども園から小学校、中等部、高等学校、短期大学、大 学、大学院とすべての教育機関が整い、理想的な一貫教育を実現 します。

熊本県

幼稚園

● 東海大学/熊本キャンパス*1

● 認定こども園 東海大学付属かもめ

凡例

- ●大学*3
- 短期大学
- ●高等学校
- 高等学校中等部
- 小学校
- 認定こども園
- ●法人直轄機関
- 各校研究所・センター
- 付属機関·施設

山梨県

- 東海大学付属甲府高等学校(別法人)
- 東海大学山中湖セミナーハウス

長野県

東海大学付属諏訪高等学校

大阪府

- 東海大学付属大阪仰星高等学校
- 東海大学/阿蘇実習フィールド 東海大学付属大阪仰星高等学校中等部 東海大学付属熊本星翔高等学校

福岡県

- 東海大学付属福岡高等学校
- 東海大学総合農学研究所 ● 認定こども園 東海大学付属自由ケ丘 幼稚園 東海大学宇宙情報センター 東海大学松前重義記念館

北海道

- ●東海大学/札幌キャンパス
- 東海大学付属札幌高等学校
- 東海大学国際交流会館
- 東海大学銀嶺荘

山形県

● 東海大学山形高等学校(別法人)

群馬県

東海大学嬬恋高原研修センター

● 学校法人東海大学望星学塾

東京都

- 東海大学情報技術センター
- 東海大学総合社会科学研究所

● 東海大学/代々木キャンパス

東海大学付属高輪台高等学校

東海大学付属高輪台高等学校中等部

東海大学付属望星高等学校(通信制)

● 東海大学菅生高等学校中等部(別法人)

● 東海大学菅生高等学校(別法人)

● 東海大学/高輪キャンパス

- 東海大学医学部付属東京病院
- 東海大学医学部付属八王子病院
- 東海大学校友会館

千葉県

- 東海大学付属浦安高等学校
- 東海大学付属浦安高等学校中等部
- 東海大学付属市原望洋高等学校

その他

- ●東海大学海洋調査研修船「望星丸」
- ●東海大学沖縄地域研究センター

海外

12

- ●ハワイ東海インターナショナルカレッジ (別法人)
- 東海大学 ヨーロッパ学術センター
- 東海大学 パシフィックセンター
- 東海大学 海外連絡事務所 ウィーンオフィス
- 東海大学 海外連絡事務所 ソウルオフィス
- 東海大学 海外連絡事務所 アセアンオフィス
- バンコク事務所 ラカバン事務所
- 東海大学 海外連絡事務所 極東オフィス

2 福岡県 能木旦

※1 農学部・農学研究科の教育・研究については「臨空校舎」 (2023年完成予定)「熊本キャンパス」及び「阿蘇実習

※3 各キャンパスの学部・研究科情報はP28、29に掲載してい

フィールド | にて充実を図ります。 ※2 2020年4月学生募集停止

認定こども園東海大学付属静岡翔洋

神奈川県

山形県

- ●東海大学/湘南キャンパス
- 東海大学/伊勢原キャンパス
- 東海大学医療技術短期大学^{※2}
- 東海大学付属相模高等学校
- 東海大学付属相模高等学校中等部

北海道

- 認定こども園 東海大学付属本田記念
- ●学校法人東海大学望星学塾学園史資料 センター
- 東海大学文明研究所
- 東海大学総合医学研究所
- 東海大学先進生命科学研究所

- 東海大学教育開発研究センター
- 東海大学スポーツ医科学研究所
- 東海大学総合科学技術研究所
- 東海大学平和戦略国際研究所
- ●東海大学マイクロ・ナノ研究開発センター
- 東海大学国際原子力研究所
- 東海大学医療技術短期大学総合看護 研究施設
- 東海大学出版部
- 東海大学松前記念館
- 東海大学医学部付属病院
- 東海大学医学部付属大磯病院
- 東海大学松前会館
- 東海大学国際友好会館



充実の一貫教育体制で 一人ひとりの個性を伸ばす。

本学園の最も大きな特色は、認定こども園から大学・大学院までの一貫教育です。 それぞれの発達段階に応じた教育の環境づくりと教育システムを構築し、 各教育機関が連携を図りながら、思いやりと温かな心をもった人材を育成します。 知識や技術の獲得にとどまらず、一人ひとりの個性を伸ばし、人生の基盤をつくります。

認定こども園

「遊び」を教育の中心に据え、幼児の体軀や心情を育みます。

幼児教育における「遊び」は、幼児の健全な成長に とって非常に重要な手段です。一人ひとりの人格をあ りのままに観察しながら発達段階や欲求に応じて臨機 応変に対応し、強靭で感性豊かな人となる土壌を育み ます。自然との触れ合いを通して自然と協調する大切 さを伝え、同時に自立を促しながら集団適応力の芽生 えを援助します。



認定こども園 東海大学付属静岡翔洋幼稚園 認定こども園 東海大学付属本田記念幼稚園 認定こども園 東海大学付属自由ケ丘幼稚園 認定こども園 東海大学付属かもめ幼稚園



小学校

規則正しい生活習慣を通して、 児童の個性や可能性を伸ばします。

一人ひとりの個性や可能性を伸ばすとともに、他人 を思いやる心を育てます。また規則正しい生活習慣を 通して自立心を養います。教科教育においては、調査、 実験、観察、考察等を通して社会や自然に興味を持た せ、児童自らが問題を発見し、取り組み、考え、解決 する能力を育成します。正しい日本語を基盤とした国 語教育を重視し、全教科で取り組みます。

東海大学付属静岡翔洋小学校



中等部

自ら考え行動できる 知恵と創造性を育みます。

知識偏重のつめ込み教育を避け、中学生としての基礎学力を高めながら、豊かな心と創造性の育成を図ります。団体活動を通して仲間との協調性や個人の責任感、忍耐力を養い、生命の尊さや人間関係の意義を学びます。個性を尊重しながら自ら進んで問題を発見し、解決していく力を持った人づくりを進めています。

東海大学付属浦安高等学校中等部 東海大学付属相模高等学校中等部 東海大学付属高輪台高等学校中等部 東海大学付属静岡翔洋高等学校中等部 東海大学付属大阪仰星高等学校中等部 東海大学菅生高等学校中等部 (別法人)



高等学校

さまざまな活動を通して、 豊かな人間性を総合的に培います。

高校3年間は、自己開発が深化する時期です。受験のための勉強にとらわれず、文系と理系の分野をバランスよく配置した教育内容によって、生徒の自主性、知的好奇心、豊かな人間性、創造性を育みます。またクラス活動や部活動、生徒会活動などのさまざまな体験を通して、総合的判断力や柔軟な思考力を自ら引き出せるように導きます。

東海大学付属浦安高等学校 東海大学付属相模高等学校 東海大学付属高輪台高等学校 東海大学付属龍本星翔高等学校 東海大学付属諏訪高等学校 東海大学付属諏訪高等学校 東海大学付属和幌高等学校 東海大学付属和岡高等学校 東海大学付属中原望洋高等学校 東海大学付属望星高等学校(通信制) 東海大学付属甲序高等学校(別法人) 東海大学山形高等学校(別法人)

「覚える学習」ではなく、 「使える学力」を身につける。

積極的な教育改革に取り組む本学園では、独自の教科である「現代文明論」を核に据え、

覚える学習ではなく、使える学力の育成に力を注いでいます。

また、地域と連携した開かれた教育環境や一貫教育による付属推薦入学制度により、

園児・児童・生徒は本学園ならではの充実した学校生活を送ることができます。

教育改革 一覚える学習から使える学力へ一

一人ひとりの持つ可能性を、豊かに大きく伸ばします。

本学園では「知識注入型の授業」から「生徒が主体的に考える授業」への変換に取り組み、同時に地域に開かれた公開授業を推進しています。生徒はさまざまな教育プログラムを通して、自ら考え、互いに協力し合いながら、目標の達成に向けて積極的に挑む力を身につけていきます。生徒一人ひとりが自らの夢を持ち続けるために、本学園には、その夢を大きく膨らませる豊かな環境が整っています。

一貫教育ならではの利点を活かした付属推薦入学制度のメリット。

一貫教育の利点は、入試制度にとらわれず小・中・高校生が本来必要とする学びを着実に積み上げられることにあります。これを支えているのが付属推薦入学制度であり、本学園の付属高等学校の生徒は、高校3年生の6月に進学学科の推薦候補者となります。また毎年4月には、付属高等学校14校で「学園基礎学力定着度試験」が行われ、試験結果から生徒は各自の学習の到達度や不足部分を見出し、以後の学習の指針として役立てています。

一貫教育/付属推薦制度による充実した学校生活

開かれた環境による「使える学力」の育成





生徒が主体的に 考える授業 独自のさまざまな 教育プログラム

地域との 積極的な連携





「現代文明論」を核とした教育活動



12月に行われる付属推薦入学試験合格者説明会における全体説明の模様

現代文明論

- 思想や探究心の育成 -

「建学の精神」を通して ものの見方と考え方を確立し、 創造性を養います。

現代文明論は、建学の精神を通して「人生にとって 大切なものは何か」「我々はいかに生きるべきか」を 生徒自らに考えさせ、しっかりしたものの見方、考え 方を養うことを目的とした本学園独自の教育です。

高等学校では教科として「高校現代文明論」の授業を行います。本学園の歴史や現代社会の諸問題について教員と生徒または生徒同士が自らの言葉で議論したり、まとめた内容を発表し合ったりすることで受身的ではなく常に能動的な方法で授業が進められます。認定こども園、小学校、中等部では、教育活動の中で園児、児童、生徒に対して教員自身の言葉で語りかけ対話の中で導いていきます。





高校現代文明論では、人道主義・人格 主義に基づいた思想を培うことを目的 とし、地球市民として未来を創造して いく人材を育成します。



科学研究成果発表会の口頭発表



科学研究成果発表会のポスター発表

理科・数学教育

一「発見型学習」の推進 一

発見型学習を積み重ね、 思考力や想像力を養います。

理数系分野に関する関心をよりいっそう高めるために、本学園では中高生の科学研究実践活動推進プログラムの認定を全付属高等学校・中等部でめざしています。また付属高輪台高等学校は、SSH(Super Science High School)に2004年度から連続して採択されています。ユニークな教具を使った授業や豊富な実験・実習を通じて、「なぜ」という疑問から始まり「なるほど」と納得できる「発見型学習」を積み重ね、思考力や想像力を養います。また、高等学校・中等部間で理系分野における活動内容の報告や研究内容を発表し合う「科学研究成果発表会」を毎年開催し、生徒のさらなる学習意欲の向上と交流を図っています。



中高牛の理科体験授業

グローバル教育への対応で、世界を舞台に挑戦し、活躍する人材へ。

グローバル社会にしっかりと対応できる力を身につけられるよう、本学園では世界的な視野に立ったうえで 自己の考えを明確に表現し、コミュニケーション能力を広く深く培えるような教育プログラムを整えています。





海外研修

- 国際的視野の育成 -

さまざまな異文化体験を通して、

世界的な視野や感覚を習得します。

本学園では総合学園としての組織力を活かした教育

を行います。海外に有するさまざまな関係施設を利用

した海外研修制度を設けています。毎年冬には、希

望者を募って「付属高校生のためのヨーロッパ研修旅

行」、「ハワイ中期留学 (SHIP: Senior High School

Intercultural Program)」を実施しています。SHIP は

高校3年生の1月~2月の50日間にわたってハワイ

東海インターナショナルカレッジに留学します。



英語教育

一「使える英語教育」の実践 一

オールイングリッシュ授業を基本に、 英語に必要な4技能を培います。

付属静岡翔洋小学校では1年生からネイティブスピーカーの授業を導入しています。早くから異文化コミュニケーションに触れることで、無理なく聴く・話す・読む・書く力を積み重ねていくことができます。高等学校の英語授業は基本的に全て英語で行われます。ディスカッションなど生徒参加型の授業を多く取り入れ、英語で物事を考えて英語でコミュニケーションし合う「使える英語」を身につけます。生徒は単に話せるだけでなく、自分の意見を論理的に英語で伝えることができるようになっていきます。



付属高校生のためのヨーロッパ研修旅行





ハワイ中期留学(SHIP)

WEITSTORY ALSO





知的財産教育

一 創造性の育成と伸長 一

年代に応じた知的財産教育を推進し、創造性の育成と伸長を図ります。

創造性教育の一環として、認定こども園から大学・大学院までの全教育機関において、各発達段階に応じた知的財産教育を推進しています。2002年から「東海大学知的財産研究プロジェクト」を中心に特許庁の受託研究を行い、2004年から本学園の付属諸学校で「知的財産特別授業」を展開。2006年には「知的財産教育東海大学モデル」を発表するに至りました。授業を通して創造性や個性の重要性をしっかりと認識し、一人ひとりがそれぞれの個性に応じて、科学技術・デザイン・ブランド、そして文芸・学術・美術・音楽等の創造者となれるよう導きます。人間性を高めるうえで欠かせない授業のひとつです。

ディベート教育

一 論理的な分析力と表現力の構築 一

生徒が主体的に取り組みながら、コミュニケーション能力を培います。

社会生活で欠くことのできないさまざまなコミュニケーション能力を培うために、本学園では高等学校と中等部においてディベート教育を導入しています。講義を聴くだけの受身の授業ではなく、生徒が主体となるディベートを体験することで、批判的思考力、傾聴力、論理的な発表能力、情報や資料の収集とその活用能力などの向上を図ります。毎年8月には付属高等学校・中等部を対象に学園オリンピック(P20~21)の一部門として、生徒たちのさらなる能力の向上をめざしています。



ー 付属札幌高等学校のディベート大会



学園オリンピックのディベート部門

学園の各教育機関との連携活動で、 豊かな人格の形成をめざす。

本学園では各教科教育の充実を図るのはもちろんのこと、部活動、生徒会活動、ボランティア活動などに力をい れています。多様な生徒の個性を生かし、生きたコミュニケーションによる豊かな心と健やかな体を育成します。





学習と部活動の両立

― 豊かな感性と社会性の育成 ―

受験勉強に縛られることなく、 大切な活動にじっくり取り組めます。

付属高校生は、付属推薦入学制度により高校3年生 の6月に進学学科の推薦候補者となるため、受験シーズ ン中も部活動を継続することができます。どの部活動も、 教員が卒業までの活動プログラムを考案して熱心に指導 しますので、牛徒はじっくり取り組むことができます。

学習面では、高等学校で学ぶべき内容について時間を かけて卒業までしっかりと指導します。また、各部活動に おいて学習会の実施や学校行事に合わせた活動日程の調 整を行い、生徒が学習と部活動にバランスよく取り組め るよう支援しています。

学習と部活動の両立による豊かな感性と社会性の育成 が、本学園の教育の大きな特色のひとつです。





生徒会活動の充実

一 交流を通した相互理解の育成 ―

全国規模での交流を通して、 積極的な自主活動を促進します。

付属高等学校の生徒会活動は学校単体の活動だけで なく、全14校が相互に連携し合っています。学校行 事の情報交換や、各校の生徒会機関誌等の送付など、 さまざまな交流を通して新たな発見や発想が生まれま す。こうした生徒会活動の象徴ともいえるのが「生徒 会会長会議 | です。毎年夏に開催される学園オリンピッ クスポーツ大会に合わせて各校の生徒会長が湘南キャ ンパスに集い、2泊3日で寝食を共にしながら各校生 徒会の交流と友情を深め、生徒会活動の活性化を図る ためのさまざまな手法を学びます。こうした実践的な 取り組みは、各校の有意義な牛徒会活動にそのまま環 元されています。

連携する教育活動

― 一貫教育ならではの体験学習を推進

各教育機関が相互に連携し、 さまざまな体験学習を推進します。

本学園では一貫教育ならではの連携により、園児・ 児童・生徒・学生が認定こども園から大学の諸活動に 参加し、積極的に交流しています。中等部の保育実習 や植樹体験等の環境教育など、通常の学習では得られ ないさまざまな体験学習を推進しています。

学生が自由な発想で企画立案したプロジェクト活動 を支援する東海大学チャレンジセンターでは、学生プ ロジェクト先端技術コミュニティ「ACOT」(九州キャ ンパス)が付属熊本星翔高等学校と付属福岡高等学校 に対して自律型ロボットの製作支援を継続的に行い、 生徒たちを福岡で開催された WRO(ワールドロボッ トオリンピアード) Japan 出場へと導きました。





社会貢献

付属札幌高等学校と札幌キャンパス



一 さまざまなボランティア活動を実施 ―

東海大学皆既日食観測プロジェクト



建学の地・三保の松原美化運動



東日本大震災被災地のボランティア

ボランティア活動への参加を通して、 人を思いやる気持ちを育みます。

本学園では社会教育の一環として、さまざまな社会 貢献活動に取り組んでいます。例えば「東海大学建学 の地・三保の松原美化運動 | は1966年より活動を開 始。自然美化と同時に人を思いやる気持ちを育むこと を目的に、地元自治体と協力しながら、三保の松原と その周辺を清掃しています。また、山形高等学校では、 生徒会による東日本大震災被災地ボランティア活動を 実施しました。

2009年の皆既日食と2012年の金環日食では、全 国に広がる本学園の教育研究機関と連携したプロジェ クトを展開。観測映像を番組に構成してインターネッ トで配信しました。特に2009年の皆既日食では中 等部生・高校生・大学生、そして本学の卒業生による 合同観測チームが本学園の海洋調査研修船「望星丸」 に乗船し、太平洋上で観測を行いました。

みんなで刺激し合うから、 とびっきり磨かれる。

学園オリンピック

小説の部、評論・エッセイの部、詩・短歌の部 の3分野に分かれて作品を創作。講義を受けな がら、「読んで、考え、書く」体験を重ねます。

スポーツ大会

個人、団体での成績を競い 合うと共に、学校ごとの総 合成績を競い合います。単 に勝敗を競うだけでなく、各 学校間の交流にも大きな役 割を果たしています。

日頃の成果 自己の可能性

全部で9部門からなる学園オリン ピックは、本学園独自の教育プログラ ムです。対象となるのは本学園の高 等学校と中等部の全生徒で、毎年5 月に芸術(音楽)部門、8月にはスポー ツ大会(高校生のみ)が湘南キャン パスで3日間のセミナーと競技を繰 り広げます。それ以外の7部門は、7 月末から8月にかけた6日間にわたっ を競い合い、 を伸ばします。

て東海大学嬬恋高原研修センターを 会場に夏季セミナーを開催します。他 者と競い順位づけすることが学園オリ ンピックの狙いではなく、牛徒たちが 相互に刺激し合い、切磋琢磨しなが ら成長していく場となっています。優 れた才能を早期に発見し、それをいっ そう大きく育てるという重要な役割も 担っています。

数学部門

数学的センスを伸ばし、数学に 対する興味を深めることを目標 に、講義とプロジェクト学習を通 じて数学の面白さを発見します。

学園オリンピックは、生徒の知識や技能を高め合うための独自の学園行事です。

全国から集まった付属校生が寝食を共にしながら宿泊研修を行い、

部門ごとに日頃の学習成果を全力を出して競い合います。

新たな課題に向けて挑戦し続ける力を育成します。

理科部門

嬬恋高原の豊かな自然を活かし、 運動、エネルギー、化学変化、生 物の多様性、地形、天体などさま ざまな分野について実験や観察を 行い、問題の発見と解決能力を養 います。



ディベート部門

ディベート競技とその準備を通 じて、情報収集・問題分析能力 とコミュニケーション能力を高 めます。リーダーシップとチー ムワークの重要性を体感します。

知的財産部門

暮らしを豊かにするアイデアを テーマに自らのアイデアを実現 するための活動を行います。多 くの意見を聞き、解決法を見出 す技術についても学びます。

芸術(音楽) 部門

音楽コンクールを中心に、大学教員と東京交響楽団の 講師による公開レッスンやセミナー、アンサンブル練 習と発表などを通じて音楽の世界を楽しみます。

英語部門

「英語の世界で新しい自分を見つ けよう」をテーマに、国際人とし ての教養とコミュニケーション能 力の向上をめざします。



大学・高等学校の教員が専門的視点から課題を用意し、 デッサン、造形表現、スケッチ、作品の発表と評価を 互いにし合うことで、自らの創作力向上につなげます。



各自の希望に応じた 事前準備がしっかりできる。

付属推薦入学制度

一貫教育による付属推薦入学制度によって、高校3年生の6月に進学学科の候補者選考が行われます。

そのため、付属校生は一般的な受験勉強に縛られることなく、

高校生活3年間を通して、好きな課題や活動に思う存分、取り組むことができます。

大学進学に円滑に移行するためのサポート体制も充実しています。

付属推薦入学制度スケジュール

1年生

4月 学園基礎学力定着度試験

7~10月 付属生対象医学科説明会

付属生対象看護学科説明会

付属生対象航空操縦学専攻説明会

つ年件

4月 学園基礎学力定着度試験

7~10月 付属生対象医学科説明会

付属生対象看護学科説明会

付属生対象航空操縦学専攻説明会

付属生のためのオープンキャンパス

3年生

目 学園基礎学力定着度試験

5月 付属推薦入学試験希望学科エントリー

6月 付属推薦入学試験推薦候補者発表

7月 付属推薦入学試験推薦候補者説明会

11月 付属推薦入学試験出願

学園高大連携総合試験 小論文試験

12月 付属推薦入学試験合格発表

付属推薦入学試験合格者説明会

各校行事 進路指導により実施される行事

- ①キャンパス見学会(各地のキャンパスを見学に行く)
- ②研究室訪問 (大学の研究室を訪問する)
- ③学部学科説明会(大学教員が各校を訪問し、説明会を行う)
- ④出前授業

(大学教員が各校を訪問し、大学の授業を行う)

付属推薦入学候補者選考要素

以下の6つの要素を総合的に審査し、 選者されます。

- ①志望動機
- ②小論文試験
- ③学業成績
- 4)学園基礎学力定着度試験結果
- ⑤学園高大連携総合試験結果
- ⑥校内推薦順位

付属推薦入学制度の種別

付属推薦入学制度には、以下の4つの 種別があります。

①特別奨励入学

(成績上位者を対象とした奨学金給付)

②特別技能推薦入学

(部活動関係)

- ○競技枠(運動部、吹奏楽部)
- ○各校推薦枠
- ③特別学力推薦入学
- ④内部推薦入学

適性審査を課す学科

以下の4つの学科では、生徒に対する 適性審査を行います。

- ①教養学部芸術学科
- ②工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻
- ③医学部医学科
- 4)医学部看護学科

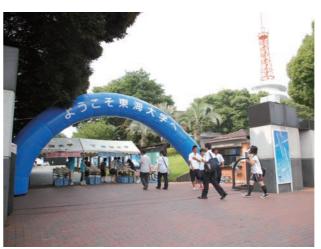
高大連携教育 - 入学に向けた学習計画の確立 -

推薦候補者決定後も充実した高校生活を送り、卒業までの学習計画を確立できます。

推薦候補者に決定した高校3年生が、6月からの10カ月間を 勉学に励みながら充実した高校生活を送り、大学入学に向けた準 備も整えられるように、高大連携の教育を充実させています。

3年生の7月には大学教員が各校を訪れる推薦候補者説明会を開催し、11月には学園高大連携総合試験、小論文試験を実施しています。また、12月に開催される推薦入学試験合格者説明会には、保護者と生徒が一緒に参加し、進学予定学科の概要、個別指導課題、入学前学習についての説明や、個別面談などが実施され、生徒は卒業までの学習目標を立て、学習計画をしっかり確立させています。





付属生のためのオープンキャンパス

大学の雰囲気を肌で感じてもらうためのオープンキャンパス。大学 の基本情報はもちろん、学部・学科紹介、体験授業、個別相談など、 さまざまなプログラムを用意しています。



アパート・奨学金などの入学前個別相談

入学までの高校生活と入学前学習に関する説明をはじめ、アパートなどの紹介や周辺環境の説明なども行われます。初めての環境にスムーズに馴染めるように、きめ細かいサポート体制がとられています。



惟薦候補者説明会

7月~9月の期間に、大学の教員が付属高校を訪問しています。付属 推薦候補者(12月以降「合格者」)へ入学に向けた学習計画確立のた めの指導を実施しています。



付属推薦入学試験合格者説明会

推薦入学試験合格者を対象とした説明会は、12 月に保護者同伴にて 全国の東海大学キャンパスで開催されます。大学入学までの高校生 活のあり方、学科別の説明会をはじめ、個別面談も行われます。



より高い専門性を育む高等教育機関

全国に広がるキャンパス、研究所、付属機関等が相互に連携を図りながら、

社会に羽ばたくために不可欠な、より高い専門性と先進性を培います。



未来を切り拓く 幅広い学びのフィールド。

東海大学は19学部75学科・専攻・課程を擁する総合大学です。

学生一人ひとりが持つ素質を大きく伸ばすために、

文理融合の幅広い知識と国際性豊かな視野の獲得を図ります。

学生は独自の学びのスタイルを構築し、自らの思想を培います。

素質を高める「4つの力」を磨き、将来の可能性を大きく広げます。

グローバル化が進み、価値観が多様化する現代では、 時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、かつ改善 できる創造的な人材が求められています。東海大学で はこの求めに応じるために、知識や技術だけではなく、 「自ら考え、集い、挑み、成し遂げる」ことができる 力を育成しています。

常に未来を見据え、自らが取り組むべき課題を探求する「自ら考える力」。多様な人々の力を結集する「集い力」。困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する「挑み力」。そして、失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく「成し遂げ力」。この4つの力を培うために、

本学では「東海大学型リベラルアーツ教育」を実践。 高度な専門知識を身につけるだけでなく、専門知識を 社会で役立てるために必要な教養を総合的に育成して います。

文理融合の教育理念のもとに特色あるカリキュラムが組まれ、さまざまなプログラムが設けられています。 他学部他学科の授業が履修できる本学独自の「副専攻制度」や、在籍地区以外のキャンパス・施設に留学ができる「キャンパス間留学制度」等も導入。学びの選択肢は大きく広がっています。



東海大学

【湘南キャンパス】

文学部

文明学科

歷史学科

日本史専攻

西洋史専攻

考古学専攻

日本文学科

英語文化コミュニケーション学科

文化社会学部

アジア学科

ヨーロッパ・アメリカ学科

北欧学科

文芸創作学科

広報メディア学科電気

心理・社会学科

政治経済学部

政治学科

経済学科

経営学科

法学部

法律学科

教養学部

人間環境学科

自然環境課程

社会環境課程

芸術学科

音楽学課程

美術学課程

デザイン学課程

国際学科

体育学部

体育学科

競技スポーツ学科

武道学科

生涯スポーツ学科

スポーツ・レジャーマネジメント学科

健康学部

健康マネジメント学科

理学部

数学科

情報数理学科

物理学科

化学科

情報理工学部

情報科学科

コンピュータ応用工学科

工学部

生命化学科

応用化学科

光・画像工学科

原子力工学科

電気電子工学科

材料科学科 建築学科

十木工学科

精密工学科

機械工学科

動力機械工学科

航空宇宙学科

航空宇宙学専攻

航空操縦学専攻

医用生体工学科

1~2年次:湘南キャンパス、 3~4年次:伊勢原キャンパス

観光学部

観光学科

1年次:湘南キャンパス、 2~4年次:代々木キャンパス

【高輪キャンパス】

情報通信学部

情報メディア学科

組込みソフトウェア工学科

経営システム工学科

通信ネットワーク工学科

海洋学部

海洋文明学科

【清水キャンパス】

環境社会学科

海洋地球科学科

水産学科

生物生産学専攻

食品科学専攻

海洋生物学科

航海工学科 航海学専攻

海洋機械工学専攻

【伊勢原キャンパス】

医学部

医学科 看護学科

【熊本キャンパス】

経営学部

経営学科

観光ビジネス学科

基盤工学部

電気電子情報工学科

医療福祉工学科

農学部

応用植物科学科

応用動物科学科

バイオサイエンス学科

※農学部の教育・研究については「臨空校舎」(2023 年完成予定)「熊本キャンパス」及び「阿蘇実習フィールド」にて充実を図ります。

【札幌キャンパス】

国際文化学部

地域創造学科

国際コミュニケーション学科 デザイン文化学科

生物学部

生物学科

海洋生物科学科

より深い研究を通して、自分をさらに高めていく。

東海大学大学院は 18 研究科 32 専攻を擁しています。

多様な分野への情報発信や産官学連携への積極的な取り組みなど、

文化の創造発展に向けた学術活動を続けています。

東海大学大学院

総合理工学研究科 [博士課程]

総合理工学専攻

R 湘南キャンパス他

地球環境科学研究科 [博士課程]

地球環境科学専攻

F 湘南キャンパス他

(2021年4月学生募集停止)

生物科学研究科 [博士課程]

生物科学専攻

R 湘南キャンパス他

文学研究科 [博士課程 (前期・後期)]

*観光学専攻のみ修士課程

文明研究専攻

中学専攻

日本文学専攻

英文学専攻

コミュニケーション学専攻

観光学専攻*

∄湘南キャンパス

政治学研究科 [博士課程 (前期·後期)]

R 湘南キャンパス

政治学専攻

経済学研究科 [博士課程 (前期・後期)] 応用経済学専攻

FI 湘南キャンパス

法学研究科 [博士課程(前期・後期)] 法律学専攻

∃ 湘南キャンパス

人間環境学研究科 [修士課程] 人間環境学専攻

F 湘南キャンパス

芸術学研究科 [修士課程]

音響芸術専攻造型芸術専攻

∃湘南キャンパス

体育学研究科 [修士課程]

∃ 湘南キャンパス

体育学専攻

理学研究科 [修士課程] 数理科学専攻

奴垤竹于

物理学専攻

化学専攻

FI 湘南キャンパス

工学研究科 [修士課程] 電気電子工学専攻

応用理化学専攻

建築土木工学専攻

機械工学専攻
回湘南キャンパス

医用生体工学専攻

FJ 伊勢原キャンパス

情報通信学研究科 [修士課程]

情報通信学専攻

∃ 高輪キャンパス

海洋学研究科 [修士課程] 海洋学専攻

⇒ 清水キャンパス

医学研究科 [博士課程/修士課程]

先端医科学専攻[博士課程] 医科学専攻[修士課程]

∃ 伊勢原キャンパス

健康科学研究科 [修士課程] 看護学専攻

保健福祉学専攻

D 伊勢原キャンパス

農学研究科 [修士課程]*

農学専攻

□ 熊本キャンパス

※農学研究科の教育・研究については「臨空校舎」 (2023年完成予定)「熊本キャンパス」及び「阿

生物学研究科 [修士課程]

蘇実習フィールド」にて充実を図ります。

牛物学専攻

∃ 札幌キャンパス

より高い専門性を育む高等教育機関

集中的に学びを積み重ねながら、 目標に向かって前進。

短期大学&インターナショナルカレッジ

東海大学では国内に2校、海外に1校の短期大学を設置しています。

専門的かつ実務性に富んだ学問を集中的に学ぶことで、

実社会へと力強く羽ばたいていくことができます。



東海大学短期大学部

静岡市にキャンパスを構え、食物栄養学科と児童教育学科の2学科を有しています。幅広 い教養と現代科学技術に裏打ちされた専門性の高い実践教育を行うとともに、教科外活動も 積極的に行っています。

食物栄養学科 児童教育学科 (2020年4月学生募集停止)

http://www.sjc.u-tokai.ac.jp



東海大学医療技術短期大学

理論と実践をバランスよく身につけることができる3年制の看護大学です。「感じ、考え、 行動する」看護師を育成するカリキュラム、いわゆる「臨床実践家を育てる教育」を実施し ています。

看護学科(3年制)

(2020年4月学生募集停止)



ハワイ東海インターナショナルカレッジ(_{別法人)}

ハワイ大学ウエストオアフ校に隣接する米国西地区学校・大学協会の基準認定を受けた短期大 学です。修了者は米国短期大学十(教養)を取得。卒業後は東海大学だけでなく、米国や英国など の4年制大学へも編入学できます。

初等中等教育機関沿革

1942年 1943年		●学園、静岡県清水市(現・静岡県静岡市清水区)に創立・航空科学専門学校、静岡県清水市三保(現・静岡県静岡市清水区		5月	● 学校法人東海大学熊本学園かもめ幼稚園、熊本県熊本市保田窪本町(現・熊本県熊本市中央区帯山)に開園(2003年4月東海大学付属かもめ幼稚園、2015年4月認定こども園東海大学付属かもめ
1944年	4月	三保)に開校●電波科学専門学校、電波工業学校、東京都中野区江古田に開校			幼稚園に園名変更)
		●財団法人電気通信工学校電気通信工業学校、東京都中野区江古田	1975年	4月	●東海大学付属高等学校、東海大学付属浦安高等学校に校名変更、 千葉県東葛飾郡浦安町東野(現・千葉県浦安市東野)に移転
1945年	8月	に開校●航空科学専門学校と電波科学専門学校を統合し、東海専門学校に 校名変更	1976年	4月	東海大学付属望星高等学校静岡分校、静岡県静岡市宮前町に開設 (1990年4月東海大学付属望星高等学校静岡校に校名変更、~2012年 3月)
		●電気通信工業学校と電波工業学校を統合し、東海工業学校に校名		8月	●付属高等学校生のための海外研修航海開始
		変更(1948年4月東海高等学校、1952年4月東海電波高等学校、 1968年4月東海大学高輪台高等学校、1990年4月 東海大学付属高輪 台高等学校に校名変更)	1977年	11月	●学校法人一橋学園一橋高等学校と提携(山形県山形市蔵王成沢、現・山形県山形市成沢西、1978年4月東海山形高等学校、1982年 6月東海大学山形高等学校<提携校>に校名変更)
		●東海専門学校、東海科学専門学校に校名変更(~1950年3月)	1980年	4月	東海大学付属相模中学校、神奈川県相模原市相南(現・南区相南)
1946年		●旧制東海大学、開学			に開校(2008年4月東海大学付属相模高等学校中等部に校名変更)
1947年		●東海工業学校に東海中学校を併設(~1954年3月)			● 東海大学付属望星高等学校町田分校、東京都町田市中町に開設(~ 1990年3月)
1948年	4月	●東海実業高等学校(定時制)、静岡県清水市三保に開校(1951年 4月静岡県清水市折戸に移転、1959年4月東海大学実業高等学校・ 定時制に校名変更、~1979年12月)			●付属高校生のためのヨーロッパ研修旅行開始
1949年	4月	●東海大学第一中学校、静岡県清水市駒越に開校(1951年4月静岡	1983年	4月	●東海大学付属仰星高等学校、大阪府枚方市桜丘町に開校(2018年 4月東海大学付属大阪仰星高等学校に校名変更)
		県静岡市宮前町に移転、2003年4月東海大学付属翔洋中学校に校 名変更、静岡県静岡市清水区折戸に移転、2009年4月東海大学付 属翔洋高等学校中等部、2015年4月東海大学付属静岡翔洋高等学			●学校法人多摩学院東京菅生高等学校と提携(東京都秋川市菅生、 1989年4月 東海大学菅生高等学校 <提携校>に校名変更)
		校中等部に校名変更)	1986年	4月	東海大学第四高等学校付属中等部、北海道札幌市南区南沢に開校 (2004年4月東海大学付属第四高等学校中等部に校名変更、~2016
1950年		新制東海大学、開学			年3月)
1951年		●私立学校法施行により学校法人東海大学となる●東海大学高等学校、静岡県清水市駒越と静岡県静岡市宮前町(現・ 静岡県静岡市葵区宮前町) に開校(1953年4月静岡県清水市三保に	1988年	4月	● 東海大学付属デンマーク校(高等部・中等部、1993年4月東海大学付属デンマーク校中学部に校名変更)、デンマーク王国プレスト市に開校(2008年3月デンマーク望星国民高等学校)
1955年	48	移転、1959年4月東海大学第一高等学校に校名変更、~1999年3月) ● 東海大学付属高等学校、東京都渋谷区代々木富ヶ谷町(現・東京			● 東海大学付属浦安中学校、千葉県浦安市東野に開校(2008年4月 東海大学付属浦安高等学校中等部に校名変更)
		都渋谷区富ヶ谷)に開校	1989年	4月	●東海大学付属望星高等学校単位制課程、東京都渋谷区富ヶ谷にて
1958年	4月	 東海大学付属幼稚園、静岡県清水市三保に開園(2012年4月静岡県静岡市清水区折戸に移転、2015年4月認定こども園東海大学付属幼稚園、2016年4月認定こども園東海大学付属静岡翔洋幼稚園に園名変更) 			教育開始 ●東海大学付属望星高等学校熊本分校、熊本県熊本市渡鹿に開設 (1990年4月東海大学付属望星高等学校熊本校に校名変更、~2015
1959年	4月	● 東海大学付属高等学校通信教育部、東京都渋谷区代々木富ヶ谷町 (現・東京都渋谷区富ヶ谷) に開設 (1963年4月東海大学付属望星 高等学校として開校)	1990年	4月	年3月) ●東海大学付属望星高等学校北海道校、北海道札幌市南区南沢に開設(~2012年3月)
		●東海大学工業高等学校、静岡県清水市三保に開校(1962年8月静	1991年	4月	● 東海大学付属望星高等学校福岡校、福岡県宗像市田久に開設 (~2012年3月)
1961年	4月	岡県清水市折戸に移転、~1999年3月) ●東海大学第二高等学校、熊本県熊本市大江町(現・熊本県熊本市東 区渡鹿)に開校(2004年4月東海大学付属第二高等学校、2012年4		7月	● 東海大学学園オリンピック第1回数学部門開催(東海大学嬬恋高原研修センター)
10005	4.17	月東海大学付属熊本星翔高等学校に校名変更)	1992年	7月	● 東海大学学園オリンピック第1回英語部門・芸術(造形・音楽5 月湘南校舎)部門開催
1963年	4月	●東海大学付属相模高等学校、神奈川県相模原市相南(相模校舎)に開校	1993年	10月	●海洋調査研修船「望星丸」(2,174国際総トン) 就航
		●東海大学第三高等学校、長野県茅野市玉川に開校(2004年4月	1994年	4月	●「高校現代文明論」授業開始
		東海大学付属第三高等学校、2016年4月 東海大学付属諏訪高等学 校に校名変更)		7月	●東海大学学園オリンピック第1回理科部門開催
1964年	4月	● 東海大学第四高等学校、北海道札幌市南区南沢に開校(2004年4 月東海大学付属第四高等学校、2016年4月東海大学付属札幌高等学 校に校名変更)	1995年	4月	●東海大学菅生高等学校付属中学校、東京都秋川市菅生(現・東京都あきる野市菅生)に開校(1997年4月東海大学菅生中学校、2008年4月東海大学菅生高等学校中等部<提携校>に校名変更)
	8月	●第1回東海大学学園オリンピック (スポーツ大会) 開催			●東海大学学園オリンピック第1回国語部門開催
1966年	4月	● 東海大学第五高等学校、福岡県宗像市田久に開校(2004年4月東 海大学付属第五高等学校、2016年4月 東海大学付属福岡高等学校 に	1996年		●東海大学付属仰星高等学校中等部、大阪府枚方市桜丘町に開校 (2018年4月 東海大学付属大阪仰星高等学校中等部 に校名変更)
1967年	4月	校名変更) ● 東海大学付属小学校、静岡県清水市三保に開校(2012年4月静岡	1999年	4月	●東海大学第一高等学校と東海大学工業高等学校を統合し、東海大学付属翔洋高等学校を静岡県清水市折戸(現・静岡市清水区折戸) に開校(2015年4月東海大学付属静岡翔洋高等学校に校名変更)
1050/5	48	県静岡市清水区折戸に移転、2016年4月東海大学付属静岡翔洋小学校に校名変更)	2000年	8月	●第1回ディベート東海開催(~2005年)、2006年より東海大学学園 オリンピックディベート部門に改編
1973年	4月	東海大学付属本田記念幼稚園、神奈川県伊勢原市下糟屋に開園 (2015年4月認定こども園東海大学付属本田記念幼稚園に関名変更)		12月	●ハワイ中期留学(SHIP)開始
6	6月	●学校法人東海福岡学園東海学園自由ケ丘幼稚園、福岡県宗像郡宗			●東海大学体験留学(3年生科目等履修)制度開始
		像町田久に開園(1973年7月福岡県宗像郡宗像町自由ヶ丘に移転、 1983年4月東海大学付属自由ケ丘幼稚園に園名変更、1997年1月福	2003年		●知的財産教育を全ての教育機関に導入、授業開始
		岡県宗像市田久に移転、2016年4月認定こども 園 東海大学付属自由 ケ丘幼稚園に関名変更)	2004年		●東海大学学園オリンピック第1回知的財産部門開催
1974年	4月	●学校法人芙蓉学園東海甲府高等学校と提携(山梨県甲府市金竹町、	2007年 2010年		東海大学付属高輪台高等学校中等部、東京都港区高輪に開校◆ 人工芝グラウンド整備事業開始
		1977年4月東海大学甲府高等学校〈提携校〉、2014年4月東海大学	2010年		● ICT教育環境整備事業開始
		付属甲府高等学校に校名変更) ●学校法人精華学園精華女子高等学校と提携(千葉県市原市能満、	2016年		●入学前学習「スタディサプリ」導入
		1975年4月東海精華女子高等学校、1977年12月東海大学精華女子 高等学校、1986年4月東海大学付属望洋高等学校、2016年4月 東 海	2019年	3月	●小学校・中等部に学園英語設定テキスト導入「Hello, Tokai!」~ to the Next Stage~
		大学付属市原望洋高等学校に校名変更)	2019年	4月	●働き方改革モデル校として2校を選定・導入